

# 広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111【代表】

人口	
— 9月30日現在 —	
9,293人	男 4,512人 女 4,781人
世帯数	2,612
転入 38	出生 6
転出 19	死亡 4



高森村山の田上殖さん宅には、ことしいろいろとどりの菊が見事に咲きました。近所の人や来訪者に楽しんでもらおうと、田上さんが三年前から菊づくりに励んでいるもので、ことしは大輪、中輪、小輪あわせて約六十種が百二十鉢に移し替えられました。

深秋の日差しを受けた白や黄、赤紫の花々は清楚で、ひとときの心の安らぎさえ感じさせます。

咲き競う菊の花

第279号 昭和57年

# 11月

### おもな内容

- ☆ 船出待つ老人保健制度.....(2)
- ☆ 出版と受賞功労たたえ祝賀会.....(3)
- ☆ 草部中の新校舎が完成.....(4)
- ☆ ご存知ですか 新しい農用地制度.....(5)
- ☆ まだまだ元気です(老人スポーツ大会).....(6)
- ☆ 優良材の特別市開く.....(7)

11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	11月23日	11月20日
渡辺 院	後藤 院	上村 院	小林 院	小田 院	平田 院
⑦1777	⑦0019	⑤0336	②0075	②0216	②0216

火事・救急車は①119へ



診療は午前9時から午後5時まで

# 町民文芸

## 肥後狂句

ぐにやり 朝顔に点滴の要る  
秋の夜長 何か食わんと夜の明けん  
嫌い 姉さん目当て来らずだけ  
すっからかん 此の際禁酒するも良え  
秋の夜長 あんごにやあち眺めとる月  
すっからかん ちよいなくの三代目  
秋の夜長 シェクスピアの読み直し  
惜しかった 試合の流れ変えた雨  
秋の夜長 教育ママにこなさるゝ

## 俳句

風無くも道一ばいに早落葉  
秋日射し澄みて見直す根子の嶮  
ちらほらと紅葉の見ゆる阿蘇路かな  
其処だけが頼に明るき石露の花  
往きに見て帰りに手打る野菊かな  
秋雨の長きに今日も針をとる  
裏木戸を出れば花野に続く道  
野宿して鈴虫聞かん千駄原  
すゝき野の波にのまれて歩き居り  
秋散歩家に帰れば子猫待つ  
海釣の帰る夜空や居待月  
ぬくもれる石に止まれる秋の蝶  
句の集い穂芒招く峠越え  
秋の雲移ろう根子の照り響り  
カッポ酒くみ交う句座や秋深む  
山門を入れれば秋冷俄かなり  
袋ごと挽きしリンゴの香りかな

浦塚 南天  
岡本 琴司  
林 不忘  
林田 一声  
篠田 凡才  
石田 詩朗  
馬原 馬笑  
山上 黙公子  
山村 不覚

後藤 法龍  
森 正六  
森 政隆  
阿部 タツエ  
本田 訓子  
後藤 やよい  
後藤 チエ  
白石 政憲  
瀬井 幸一  
後藤 固  
後藤 嵐  
熊谷 こう女  
甲斐 ヘルエ  
内田 文子  
弥永 藍子  
松岡のぶ子  
桐原 寿子

## 国鉄高森線を利用しましょう

## 町社会福祉協議会

オホーツクの新紺碧に秋日濃し  
田楽の昼餉楽しき四方の秋  
りんどうの寄りて鮮やかキャンプ場  
もつれ合い山路よぎりて秋の蝶  
りんどうを摘みたく牧の柵ぐる  
高岳の雲か狭霧かはやも消え

林 久恵  
柴田ふい子  
古庄 泰子  
平田るり子  
山村ふみ子  
岩下 扶美

## 昭和会へ金一封

高森昭和の渡辺春さんから「昭和会」へ金一封  
野尻の馬原慶三さんから「ふもと会」へ金一封  
色見井上の住吉てるえさんから井上老人クラブへ金一封  
病氣見舞の返礼にかえて  
菅山の遠山哲夫さんから菅山老人クラブへ金一封  
金婚夫婦表彰の返礼にかえて  
高森昭和の岩下里至・ウメトさん夫婦から昭和会へ金一封  
高森昭和の今村千鶴・喜和さん夫婦から昭和会へ金一封

## おめでとう

S57. 9. 16~10. 15 受付

出生	出生(年月日)	性別	保護者	住所
森	7. 6	女	辰幸 貴代	森
村山	9. 7	男	正二郎 正太	村山
津留	9. 9	男	幸男 恵介	津留
上通	9. 11	女	祐二 阿十香	上通
旭芹	9. 13	女	伸祐 梢	旭芹
尾下	9. 8	女	和秀 輝代美	尾下
尾原	9. 25	女	光一 友理子	尾原
河原	9. 26	男	厚夫 友和	河原
死亡	10. 1	男	完起 史朗	河原

死亡	死亡(年月日)	年齢	遺族	住所
昭	9. 18	53	幸弘 宇藤	昭
昭	9. 26	69	乙市 渡辺	昭
津	10. 1	85	ツキエ 津留	津
下	10. 8	65	久士 森野	下
上	10. 13	4	恵美 下田	上
中	10. 7	72	保 岡部	中
津	9. 14	57	松男 野尻	津
河	10. 10	100	トエ 後藤	河

結婚	結婚(年月日)	住所	氏名
夫	57. 10. 5	高森・津留	桂司
妻		長陽村	みゆき
夫	10. 15	高森・下町	敏也
妻		熊本市	久美子
夫	9. 27	熊本市	秀一
妻		高森・下町	和枝

野尻地区の仲江婦人会から林業センターへ手縫いのゾウキン・フキン

# 船出待つ老人保健制度

## 医療費一部自己負担 来年2月から実施へ

さきの国会で老人保健法が成立し、来年の二月一日から七十歳以上(寝たがりの場合は六十五歳以上)のお年寄りの医療はすべて新しい制度の下に運営されることに

なりました。いままでお年寄りは国民健康保険に加入し、国民健康保険の制度の下に医療を受けていたわけですが、これからは国民健康保険から切り離され、老人保健法によって医療を受けることになる

健康保険から切り離して別建てにし、医療についてはすべて老人保健法の適用をうけることにする。また、お年寄りの医療費無料制度を廃止し、受診の際、一部負担金を分担させる。

医療費は、国民健康保険がその七割を、国や地方自治体が残りの三割を負担していました。つまり無料でお医者にかかれたわけです。今度の老人保健法の成立で、お年寄りがお医者さんにかかる場合は次のように一部負担金を支払わなければならないことになりました。

また、一つの医療機関について一カ月四百円ですから、内科とか眼科とかいうように、病院・診療所が変われば、そのつど四百円支払うことになります。

### 税を知る週間 11月11日～17日

## 暮らしに生きる税金

●お年寄りの医療費が肥大化をづけ、(老人医療費は、現在年率一三%を越える勢いでふえている)そのため、お年寄りを多く抱える国民健康保険が深刻な財政難に陥っている。

私たちの社会をより豊かに、より住みやすくするために、税金はいろいろな面で使われています。身近かなところでは、社会福祉、道路や水道の整備、教育住宅対策など。

税金は私たちが安定した生活を望むとき、社会の一員として負担しなければならぬ「会費」と言えるでしょう。十一月十一日から十七日まで「税を知る週間」です。統一テーマは「この社会あなたの税金が生まれている」

この機会に、私たちの生活向上のために税金がどのように使われているか関心を持ちましょう。



お年寄りが多い診療所の待合室



このページは、みなさんから寄せられた原稿で編集するページです。身近かな話題や、できごと、提言などをお待ちします。原稿のあて先は役場総務課広報係。住所氏名、年齢、職業をお書きください。紙上だけ匿名扱いできます。また「わが家の王様」に登場させたい方などご紹介ください。

## 皇居奉職の思い出

高森下町 二子石 開 (80)

昭和二十年の五月中旬のある日赤坂離宮(現在の迎賓館)で防空に当たっていると、近衛兵の二子石増人さんが面会に来られた。私の生まれた吉尾野の人で、幼なじみだったので久しぶりで話に花が咲いた。彼は皇太后陛下の御殿の守護についてのこと。しかし数日後、米機B29の爆撃で皇

太后御殿はじめ、義宮、秩父宮、三笠宮の各御殿は廃墟と化し、かえすがえすも、痛恨の至りであった。爆撃は赤坂離宮にも及び、十数発の直撃を受けたが、消し止めたのは何よりなことだった。ところで、戦争はわれに利あらざ、八月十五日終戦の詔勅を押し、そして、東久邇宮に組閣の大

阿蘇農業高校は明治三十四年、当時の宮地村に創立され、以来八十二年の歴史と伝統を誇り、地域の政治、経済、文化の発展に大きな足跡を残しました。

現在、農業、畜産、生活、林業、農業土木、食品工業の六学科があり、生徒数五百九十六人。三年前には宿舎の校舎全面改築を遂げ、翌年には創立八十周年記念式典を盛大に行いました。

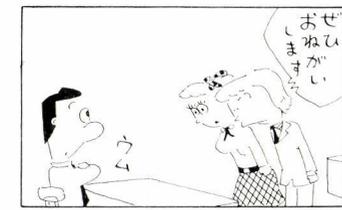
卒業生のうち、自営学科の大半が畜産や高冷地野菜農家として自立。関連学科を出た者は産業界の中堅技術者として第一線で活躍しています。同校の生徒は公務員試験や国家試験に伝統的な強さを持っています。

命が下り、われわれの防空事務室は組閣本部となった。離宮をはなれて早や三十余年の年月が経つ。皇居防衛に必死の活躍をされた二子石増人君はじめ、

上色見の橋本野亨氏の令弟白石茂生さん、木郷の二子石信広さんがいまも元気に余生を送っておられるのはなによりのことです。

### 学校紹介

## 躍動する阿蘇農業高校



このほか、危険物取扱百五十六人、国家公務員二十六人、地方公務員十七人と日本一の実績をいくつもあげて



正面から見た阿蘇農業高校

# お知らせページ

第四土曜日は無料法律相談日

▽会場 町民センター▽時間 午後一時から

## 読書感想文を お寄せください

町民の読書意欲を高めるため、町教育委員会では、次の要領で読書感想文コンクールを実施します。多数ご応募ください。

【応募規定】▼資格 町内在住の小学生から一般社会人まで▼内容 自由ですが必ず未発表のもの▼字数 千二百字以内。ただし、小学一・二年生は二百四十文字詰め原稿用紙四枚以内。別紙に現住所、氏名、年齢、職業または学校名、学年、図書名を付記すること。

【締切り】十二月二日(当日消印有効)

## 「阿蘇みやげコンクール」を実施

新しい「阿蘇みやげ」を作ってみませんか。かくれた民芸品、食品などを掘り起こし、広く県内外の人に紹介するため「阿蘇みやげコンクール」が行われています。

いませんが、現在市販されている物を除きます②応募者は郡内在住の人③作品には応募票を添付してください。

【募集締切り】五十八年二月二十八日

【賞】▽最優秀賞 一点五万円▽優秀賞 三点一万円▽奨励賞 十

お問い合せ・送付先は〒八六九一二六 一の宮町大字宮地阿蘇総合庁舎内 阿蘇地域観光振興協議会事務局

## 入園児を募集

高森幼稚園

高森幼稚園では五十八年度の入園児を募集しています。募集の内訳は三歳児二十人、四歳児二十人、五歳児三十五人の計八十人。町民税の課税額によって就園奨励費補助があります。

## 12月上旬から新庁舎で業務開始

本町にとって永年の懸案でありました役場新庁舎の建設が、町民皆さまのご支援ご協力により完成する運びとなりました。新庁舎における業務開始は十二月上旬からの予定です。はつきりとした移転の日取りは後日回覧にてお知らせいたします。

## 出版と受賞功労たたえ

本田・荒牧・飯干 三氏の祝賀会開く

「信仰風土記」を出版された本田秀行さん(八五)、熊日緑のリボン賞を受賞された荒牧英男さん(七〇)、さらに郡体育協会功労賞を受けられた飯干純男さん(五五)の三人をたたえる祝賀会が十月九日午後二時から畜産センターに関係者約二百人が出席して開かれました。

本田さんは芹口馬場のご出身で県第一師範学校、日本大学宗教学科専門部を卒業、主に東京の教育界で活躍になり、十二年前に帰郷されました。現在は町文化財保護委員。これまでに「高森町史」の近世史と社寺編の執筆をはじめ、「七十老海外を往く」「町史料第一集」「高森武田家に関する調査および資料」などの著書が



出版・受賞祝賀会の会場

あります。荒牧さんは、三十年前、上色見小学校新築を機に以来同小の主要行事や地区の催し、出来事、災害などを撮影、アルバムにまとめてその都度学校に寄付、こうした善行が受賞の対象となりました。飯干さんは昭和三十四年町体育協会が設立されて以来、役員として

## 租税教育研究 発表会ひらく

草部北部中学校

草部北部中学校(小松秀隆校長、二十七人)の租税教育研究発表会が十月二十二日午前九時半から同中学校で開かれました。

生徒の租税に対する関心を高め、税と社会生活の関連性を理解させ

## 検察審査会制度のあらまし

検察審査会は、国民の中から選ばれた十一人の検察審査員が、検察官の仕事のやり方を審査する制度です。わが国では検察官だけが被疑者を起訴する(犯人を裁判にかける)かどうかを決めることができ、裁判所は原則として検察官が起訴した事件についてだけ裁判をするこ

とができる建て前になっていまして。ところで、検察官が起訴すべきでない事件(例えば法律上罪とならない事件とか被告人を有罪とするだけの証拠がない事件)をまちがって起訴したら、裁判所が無罪の判決をすることによって無実の者が処罰される

ことを防ぐことができます。しかし、検察官が起訴するのが正しい事件をまちがって不起訴に

社会の法秩序や個人の基本的権利が守られるのです。検察審査会は、この検察官の仕事に国民の眼を光らせ検察事務が適正に行われるかどうかを監視する制度です。

なお、検察官のした不起訴処分について不満を持っておられる方や検察審査会について詳しく知りたい方、熊本地方裁判所内(☎二五二二二二)熊本検察審査会にお問い合わせください。

## 今月の支払日

日(火) 5日  
日(水) 15日  
日(木) 25日

町役場の支払日は、事務整理の都合上、勝手ながら五のつく日に定めています。ただし、当日が土・日・祭日にあたる場合は翌平日になります。支払時間は午前九時から午後三時までです。

【募集期間】十一月一日から五十八年一月三十一日まで

【申込先】〒八六九一二 菊池郡大津町大津三二七ノ一(☎〇九六二九(三)二四四四)

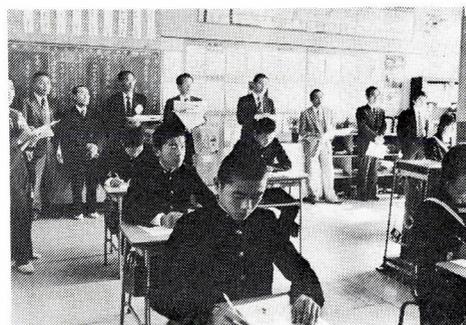
※お問い合わせは同訓練所、土木部監理課、各土木事務所へ。

## 熊日画廊で土曜 会がグループ展

町文化協会絵画部

町文化協会絵画部「土曜会」では十一月二十五日から二十九日までの五日間、熊本市上通り「熊日ニューギャラリー」でグループ展を開きます。多数ご参観ください。出品者は山村純代、荒牧アヤ、津留縫子、恵良キヨ子、岩下昭伯、佐竹富保、今村博信、土野精二、小出建司、工藤亮介、岩下昭生、のみなさん。

## 公開授業を参観する人たち



ようと、五十六年度から県教育委員会から研究の委嘱を受けて取り組んでいたもので、「租税についての正しい知識・理解による望ましい公民の育成」がテーマ。この日は郡内はもとより長洲、鹿北の中学校の先生、国税局、県関係職員など多数が訪れました。

まず各学年ごとに公開授業が行われたあと、会場を集会所に移し各学年が福祉、教育、産業と税金のかかわりについて発表しました。

いづれも生徒たちが役場や税務署などを訪ねて資料を集めるなど、二年がかりで研究してきただけに、グラフをふんだんに使った説明は、わかりやすい内容となっ

# 草部中の新校舎が完成

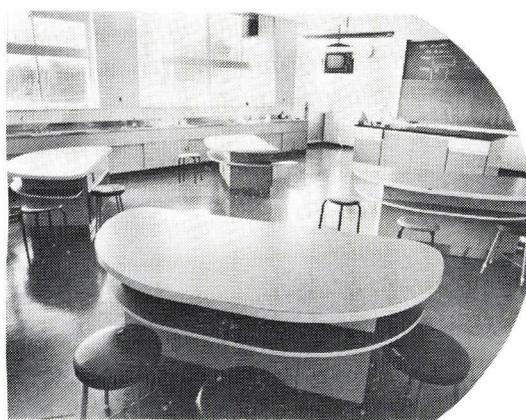
## 総事業費2億3,474万円

# 勉学に万全の施設

## 地域あげて盛大に落成式



グラウンドから見た白亜の新校舎



設備の整った理科教室



一階の普通教室と明るい廊下

町が五十六年度で建設した草部中学校(岩下潔校長)の新校舎が、ついに出来上り、これを祝う落成記念式典が十月二十三日同中学校で行われました。

同中学校のこれまでの校舎は昭和二十六年に建てられた木

買収して、校舎とグラウンドの建設工事を続けてきました。

完成した校舎は鉄筋コンクリート一部三階建て。一階は三つの普通教室はじめ、職員室、校長室、保健室、技術室、多目的ホールなどで、二階は美術、家庭、理科など五つの特別教室、三階が音楽室となつています。新校舎の特徴は防音を考え音楽室を三階

にしたことや、図書・集会室を兼ねた多目的ホール、視聴覚教室、放送スタジオなどゆとりのあるスペースと最新の諸設備を取り入れたことです。総延べ面積は、千四百九十四・六平方メートルで総事業費は二億三千四百七十四万三千円。

式には岩下町長はじめ関係者百二十人と全校生徒が参列。神事のあと岩下町長が「地域皆さんの協力で立派な校舎が出来ました。生徒の皆さんは深い愛情をもって大切にしてください」と式辞を述べ、父母代表の西川慶喜改築期成会長と生徒代表の二子石聖輝生徒会長がお礼の言葉を述べました。

# 高森百景

<11>

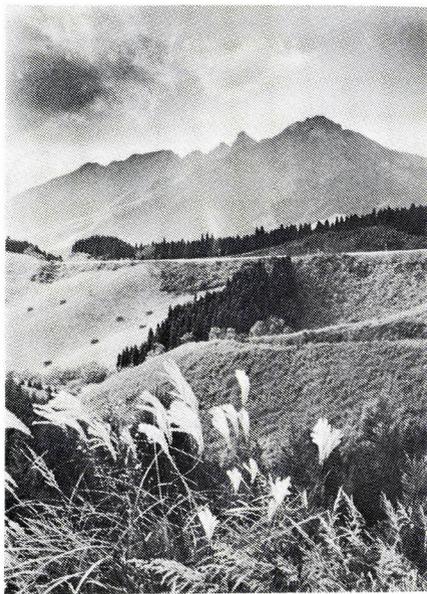
## 大戸の口

三脚を立てて、キャンパスに向い、絵筆をふるう人やカメラのファインダーをのぞく人ときおり見かけます。ここ大戸の口は東外輪の縁、南郷谷の奥詰め標高八百八に位置します。根子岳の東峰が眼前に迫り、七面山といわれるこの山の変わった一面の景色が展開されます。頭を東に回ると、野尻、波野高原が

## 魅力秘める東外輪の縁

果てしなく広がり、拡大された杉の造林がみごとに成育を示し、自然と心がなごみます。

大戸の口はその名の示すとおり、南郷谷から山東部へ、山東部から南郷谷へ向う重要な出入口になっていきます。県道「木郷―野尻線」「高森―竹田線」、町道「大戸の口―本河原線」「市野尾―黒岩線」の分岐交差する要所で、神代の昔阿蘇大明神に嫁がれた阿蘇都媛もこのところを通り、その後の往来も頻繁であったと伝えられています。今



大戸の口から見た根子岳

お茶の接待を受けたということです。

そのお茶の水、飯を炊く水は、数百メートル離れた洗川寄りに掘られた井戸水で、大きな樽に入れ、牛の背で運んだという貴重なものでした。

現在、白石家は上色見中原に移り住んでいますが、移転の際持ち運んだ石仏、石どうろうには、先祖白石勝之進のほか、中村の本多某、小倉原の花田某、嘉永の年号が刻まれており、当時の信仰の一端をうかがい知ることが出来ます。

道路が改良舗装され、自然の景色も知らない間に、多少の変化を見せる歴史の推移をつくづく思うこのごろです。

内田 秀憲

# 優良材の特別市開く

高森町森林組合

## 1m<sup>3</sup>当たり平均4万円



活況を呈した優良材の特別市

スギ、ヒノキなどの優良材ばかりを集めた木材市が十月十四日高森町森林組合で開かれました。

同組合による木材市は毎月十四日と二十八日の二回開かれていますが、間伐材中心で一立方メートル当たり二万四千五百円と低迷。しかも外材輸入による国産材の不況感も強く、林業農家の優良材の出荷控えも目立っていました。このため、木材市況に活を入れようと、同組合が今春の三月に次いで二回目の特別市を計画したものです。

午前十時から開かれた市には県下はじめ、大分、鹿児島、福岡、などから約四十人の業者がかけつけ活況を呈しました。この日出荷されたのは、スギやヒノキの大径

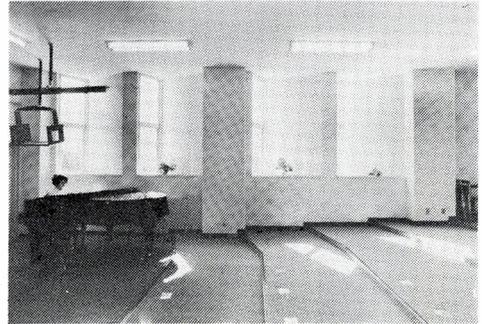
木など総出荷量は五百立方メートル。平均価格は一立方メートル当たり約四万円と前回にほぼ近い単価でした。セリ人の掛け声で次々とセリ落され、結果、この日は三百五十立方メートルが取引されました。

なお、今回の特別市には草部吉見神社の大スギも出荷され、長さ十尺の根丸太(三立方尺)が百二十万円でセリ落され関係者の注目を集めました。

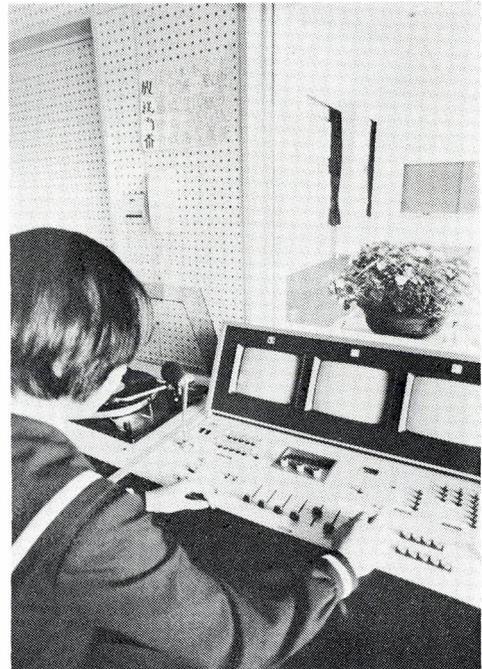
高森町森林組合では「不況感が強い割にはまずまずの価格だったと思う。木材市場は経済情勢が敏感に影響するので、当分厳しい市況が続くのでは」と分析しています。



図書室と集会所を兼ねた多目的ホール



明るい彩光を取り入れた音楽教室



テレビ放送もできるスタジオ

# ご存知ですか 新しい農用地制度

## 貸借、売買に特別の措置

新しい農地制度をご存知でしょうか。

兼業農家の増加、農業経営主の高齢化などにより、遊休農地や不耕作地など利用されない農地が増える一方、規模拡大をしたいと思

っておられる農家では、地価が高いためなかなか買うことができません。農地の有効利用と流動化が思うようにできない状況にあります。

そこで、五十五年度に安心して

農地が貸せる制度など定めた「農用地利用増進法」という新しい法律が成立しました。この法律による農用地利用増進事業で、農地を貸借したり売買すると、次のような特別の措置があります。

①農地法の許可はいりません  
②農地を貸しても約束の期限がくれば離作料を支払うことなく確実に返ってきます

③貸し手には農地流動化奨励金

(十坪当たり一万または二万円) 小作地所有制限の対象小作地とはなりません

④農地の売買については、その譲渡所得から五百万円が控除されます

⑤農地を買ったとき、農地等取得資金が一千万円(一般二百万円)まで借りられます

⑥農地を買って登記する場合、申請があれば市町村で登記の手続きをしてくれます。また登録免許税が千分の九(一般千分の五

以上)に軽減されます

## 町職員を一部異動

### 永年勤続者の勇退で

町は十月一日付で職員の異動を発令しました。永年勤続職員の勇退に伴う補充と行政事務の能率化がねらい。異動した職員は次の通りです。

## 12月上旬から

## 新庁舎で業務

役場新庁舎の建設は、町民皆さんのご支援ご協力により完成間近となりました。新庁舎による業務は十二月上旬に開始する予定です。はっきりとした移転の日取りは後日回覧にてお知らせします。

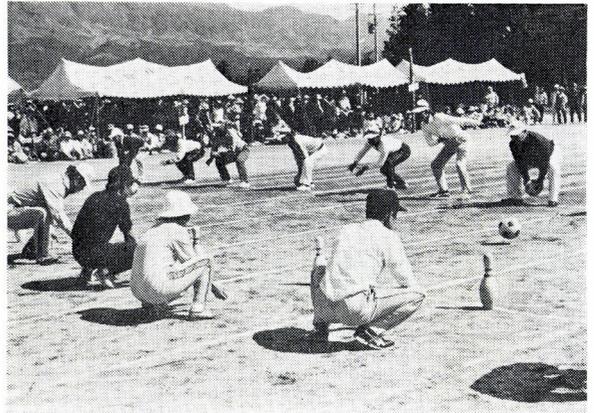
【経済課】▽課長心得(産業係長) 松本彰夫

【事務課】▽課税係長(課税係) 佐伯秀和

【収入役室】▽会計係長(草部出張所徴収係長) 甲斐元紀

【教育委員会】▽社会教育係長(課税係長) 中尾篤志

# まだまだ元気です 老人スポーツ大会開く



ボーリング競技に元気いっぱいのお年寄りたち

阿蘇南部地区老人スポーツ大会（県阿蘇事務所・阿蘇南部六か町村主催）が、十月七日、久木野村民クラブで開かれました。お年寄りの健康保持と、親ほくを目的とする同大会も今回で十一回目。まず開会式では、町村旗や老人クラブ旗を先頭に元気よく入場行進。岡本大会会長（県事務所長）のあいさつのと来賓祝辞があり、地元久木野村の河内貢二さんが大きな声で選手宣誓。競技に移りました。

トレパン姿のさつそうとしたおじいちゃん、おばあちゃんは大張り切り。六十歳競争を皮切りに、ピン立て、ボール送り、ボーリング、魚つり競争など九種目にまだまだ達者なところを見せていました。ハッスルしすぎて転倒する人もいたほど。なかには勝敗を無視

## 11月26日から秋の全国火災予防運動

火災発生の多くなる季節です。寒くなつて暖房など火を使用する機会が多くなること、気象的に空気が乾燥する日が多くなること、ちょっとした火でも出火しやすくなります。この火災シーズンを前に、十一月二十六日から十二月二日まで、秋の全国火災予防運動が実施されます。

一人ひとりが火災の防止について注意を払うことが大切です。万一出火した場合、すぐ消火できるように消火の準備と避難のしかたについて、家庭でも職場でも十分なそなえをしてください。特に家庭では、次のことをもう一度考えましょう。

- ▽防火体制を確立するため、家族ひとりひとりの火の元の安全点検を励行。
- ▽お年寄り、病人、幼児などの就寝場所の再点検。
- ▽たばこの投げ捨てと寝たばこの防止。
- ▽消火器のそなえつけ。
- ▽暖房器具の正しい使い方。
- ▽二方向避難口の確保。

同大会は天草五橋オープン記念した松島町恒例の祭の中に企画されたもので、九州各地から約五百人が参加しました。試合は五人一組でそれぞれが三十射を放って得点を競うもの。古庄さんは、四半的草部クラブ（渡辺昭光会長、十八人）の仲間とともに出場、三十射中二十九射的中するハイスコアで、難なく女子の部優勝を成し遂げました。

## 桐原さんに大臣表彰 行政相談で長年の功労

行政相談員の桐原史吉さん（六五）高森上町IIは、このほど東京で行政管理庁長官表彰を受けられました。桐原さんは昭和三十

日から二十日までの行政相談週間には巡回行政相談を開設するな

したかのように、ゆうゆうとネットクリズムを決めこむお年寄りもいて、応援席は大にぎわい。輪投げとボーリングに出場した高輪の岩下則行さん（八二）色見戸

符IIは「まだこぎゃん元気ですバ イ。スポーツはほんとに楽しかですな」と顔をほころばせていました。



大臣表彰に喜ぶ桐原さん

ど、住民と役所の中に立って、苦情の解決に努められました。現在、行政相談員のほか町文化財保護委員、調停委員、青少年育成県民会議推進指導員なども兼ねておられます。桐原さんは「だれかがやらねばならないことをやっただけのこと」と、思いがけない表彰に恐縮されていました。

## 五橋祭の四半的 大会で女子優勝



永野原の古庄さん  
大字永野原の古庄智美子さん（四四）は、このほど行われた松島五橋祭四半的の大会

の女子の部で、見事優勝の栄冠を勝ちとり、仲間から温かい祝福を受けています。